

令和8年4月1日付け 人事異動の概要

令和8年3月24日

青森市

1 令和8年4月1日付け人事異動のポイント

(1) 組織・機構の見直しに応じた人員配置

浪岡振興部の組織再編

【73名 → 75名(+2)】

○ 浪岡地区の地域振興に関する体制の強化

移住・定住の促進、デマンド交通の実施、観光振興・交流促進、地域コミュニティの推進など、浪岡地区の地域振興に関する様々な取組を効果的に進めていくため、浪岡振興部内の「総務課」と「地域づくり振興課」を統合・再編し、「地域振興課」を設置します。

教育委員会事務局の組織再編

【165名 → 168名(+3)】

○ 安全・安心で質の高い教育環境の推進

「市立夜間中学」の令和9年4月開校など、教育に関する重要な課題などに対応するため、「教育企画推進室」を設置します。
また、小・中学校や市民センター、給食センターなどの教育施設の整備に関する業務を集約し、効果的・効率的に整備を進めるため、「教育施設課」を設置します。

市民病院事務局内の組織再編

【37名 → 40名(+3)】

○ 地域医療連携と経営体制の強化

急激な医療環境の変化に対応しつつ、経営体制の強化を図るため、「経営改善サポートチーム」を設置します。
また、地域医療構想における市民病院の役割の変化への対応と更なる経営改善の推進を図るため、「医事課」を設置します。

企業局水道部の組織再編

【232名 → 238名(+6)】

○ 経営改善に向けた取組の推進

水道経営プラン及び下水道事業経営戦略に基づき、更なる経営改善に取り組むため、「経営企画課」を設置します。

危険鳥獣対策室の設置（環境部）

【12名】(兼務職員を含む)

○ 危険鳥獣に対する体制強化

出没数が増加しているツキノワグマ等の危険鳥獣に対する体制を強化するため、「危険鳥獣対策室」を設置します。

※今冬の除排雪についての検証を進めるため、道路維持課雪対策室の体制強化(人員増)を図ります。

1 令和8年4月1日付け人事異動のポイント

(2) 新たな職制の導入

1 背景、目的

- 近年、少子化による生産年齢人口の減少に伴い、民間企業との人材獲得競争が激化しており、本市においても、職員採用試験の受験者数が減少傾向にあるため、本市の職員として働く魅力の発信が必要
- 若年層の中途退職者が増加傾向にあり、採用後の定着を図る観点から、若手職員のモチベーションの維持・向上が不可欠



職員がのびのびと能力を発揮できる環境の整備

2 職制の見直しの概要

【概要】行政職(事務・技術)について、「主任」(主事級)を創設

【効果】若手職員の「成長志向」を支援し「成長実感」を高める

- ・入庁5年(大学卒)～9年(高校卒)の若手職員に向け、ステップアップした実感を得られる
- ・成長を目指す「成長志向」を伸長させ、スキルや能力が身についたという「成長実感」を得られる
- ・後輩への指導・育成を通じさらに成長するタイミングを得られる

◆主な職制(行政職)

職名	職位
部長	部長級
次長	次長級
課長	課長級
主幹	主幹級
主査	主査級
主任	主事級
主事・技師	

令和8年4月1日付け人事異動 「主事・技師」 ⇒ 「主任」 …… 338名

2 異動規模について

◆人事異動規模(4月1日付)の推移

令和8年4月1日付けの異動者数は、市長事務部局が617名、機関等が354名の総数971名となります。
このうち、組織・機構の見直しに伴うものが30名含まれていることから、実質の異動者数は941名となります。

年度	実質異動者数	総異動者数
令和8年度	941名	971名
令和7年度	733名	895名
令和6年度	707名	748名
令和5年度	627名	633名
令和4年度	681名	758名

2 異動規模について

(1) 異動者数について

① 部長級 10名

各部の重点施策・事業や課題に対して、着実な実施を図るとともに、様々なチャレンジ機会を創出し、組織の活性化を図れる適任者を配置します。

② 次長級 17名

部長級を補佐する役割を踏まえ、適任者を配置します。

③ 課長級 69名

主要重点事業の着実な実施を図るとともに、職員がのびのびと能力を発揮できるような職場づくりを担う管理職として、適任者を配置します。

④ 主幹級以下の職員 875名

主幹級職員：これまでの経験と実績を勘案しながら、将来の管理職候補者として配置します。

主査級及び主事級職員：ジョブ・ローテーションを基本とし、職員申告書を基に本人の意向・意欲等を積極的に反映し、配置します。

◆職位別総異動者数(4月1日付)

職位	令和8年	令和7年	比較
部長級	10名	15名	▲5名
次長級	17名	17名	±0名
課長級	69名	86名	▲17名
主幹級以下	875名	777名	+98名
合計	971名	895名	+76名

2 異動規模について

(2) 昇任者数について

① 昇任者数(4月1日付)

職位	令和8年	令和7年	比較
部長級	4名	10名	▲6名
次長級	14名	16名	▲2名
課長級	30名	33名	▲3名
主幹級	46名	51名	▲5名
主査級	51名	81名	▲30名
合計	145名	191名	▲46名

② 女性の昇任者数(4月1日付)

職位	令和8年	令和7年	比較
部長級	0名	1名	▲1名
次長級	2名	2名	±0名
課長級	4名	7名	▲3名
主幹級	11名	12名	▲1名
主査級	19名	24名	▲5名
合計	36名	46名	▲10名

2 異動規模について

(3) 職員数の状況について

令和8年4月1日現在の職員数の合計は2,886名で、前年の2,861名と比べると、25名の増となっております。

また、管理職(部長級・次長級・課長級)に占める女性の割合は17.39%となり、昨年の17.14%に対し、0.25ポイント増となっています。

◆職員数の状況(4月1日付)

職位	令和8年	令和7年	比較
部長級・次長級・ 課長級	254名	245名	+9名
主幹級・主査級	1,174名	1,154名	+20名
一般職員	1,458名	1,462名	▲4名
合計	2,886名	2,861名	+25名

◆管理職・役職者に占める女性の割合

区分	令和8年	令和7年	比較
管理職の女性	17.39%	17.14%	+0.25
役職者の女性	27.05%	26.77%	+0.28

※病院医療職、消防職を除いた割合

3 人員配置について (部長級の配置)

◆部長級の異動対象者

氏名	新所属・職名	現所属・職名
千葉 康 伸	税務部長	保健部長
齋藤 賢 剛	市民部長	会計管理者
中村 敦	環境部長	青森地域広域事務組合事務局長
佐藤 秀 彦	保健部長	市民部長
樋口 毅	保健部理事	採用（医師）
七崎 之 利	保健部理事	採用（医師）
木村 颯 希	都市整備部長	採用（国土交通省から採用）
横内 修	会計管理者	税務部長
泉 宏 明	教育委員会事務局教育部長	教育委員会事務局理事
角田 毅※	教育委員会事務局理事	教育委員会事務局教育次長
太田 直 樹※	選挙管理委員会事務局長	こども未来部次長
齋藤 寿 一※	青森地域広域事務組合事務局長	環境部次長
佐々木 和 人※	消防長（総務部理事）	消防次長（総務部参事）

※昇任者 4名